

令和3年10月 学校長だより 高千穂高校

令和3年10月18日

「天高く 馬肥ゆる秋」

「新米の 炊きたてご飯 食進む」

校長 佐伯 浩 美

日が昇り、気温が上がってくれば、雲のない青い空が高く広がる。すっきりした気持ちのよい朝が続いていた。昨日からは、一転して10度を切る冷たい朝となった。暦こよみの上で8日は、寒露かんろであった。秋が深まり、露が冷気によって凍りそうになる頃。コオロギなどが鳴きやむ頃とも書いてある。23日は霜降しもふりだそう。秋が終わりに近づき、露が冷気によって霜となって降り始める頃。もみじやカエデが紅葉し始める時期である。昼間は気温が上がり、朝夕は冷え込んでくる。寒暖の差が激しい。何を着るか悩ましい季節ではあるが、羽織るもので調整をしながら、体調管理には気をつけて欲しい。

さて、読書の秋 スポーツの秋 芸術の秋 音楽の秋など、1年の中では、過ごしやすく物事に集中して取り組むことのできる季節を迎えている。秋の大会やコンクールが続く。野球部は、少人数部員でありながらも1回戦で延長戦を制し、2回戦で惜敗した。陸上部の田上文哉くん(2年3組 蘇陽中)は夏の九州総体に続き、九州新人大会でも県代表としてやりを投げた。他の部活動でも新人大会が始まる活躍と同時に、上位大会へ駒を進める生徒が、多くでることを期待している。

9月21日から始まった「秋の交通安全週間」で、また1つ高千穂高校生、いや、西臼杵の子どもたちと言った方がいいのかもしれないが、素晴らしさを知った。信号機のない横断歩道で歩行者がいれば、運転者は一時停止をして、歩行者を横断させる。法規上当然のことである。横断歩道を渡り終えた高校生が、停止した運転者の方へ振り向き立ち止まり、一礼している姿をどこの横断歩道でも見た。すごい、素晴らしい地域性だと思った。私もウォーキング中は、生徒たちの真似をすることに決めた。

9月23日延期になっていたオープンスクールを開催した。郡内外から132名に来校していただいた。県外からの参加もあった。体験授業では、クリスマスの花であるポインセチアの鉢植えをした生産流通科。ドローンを使ったプログラミング体験の情報ソリューション科(次年度から経営情報科から学科名変更)普通科では、選択した教科ごとに特色のある授業を体験した。また、高校入学への不安や質問に対して、高校生が答える座談会を出身中学校ごとに実施。保護者には、魅力向上アドバイザーの三浦隆志先生の講話を入れてみた。10月16・17日は、初めての部活動オープンスクールを試みた。野球、剣道男子バレー、吹奏楽、書道に多くの中学生が参加してくれた。参加者全員の入学を願っている。

秋は、収穫の秋 食欲の秋もある。昭和40年頃まで食べ物は、季節に応じて収穫されていた。四季の中で食べ物が豊富に収穫できる季節が秋であった。現在は、栽培技術や輸送手段が発達し、美味しい食べ物が、いつでもどこでも食べられ、季節感がなくなった。パツと塩を振り、焼いて、大根おろしとポン酢で食べる秋刀魚さんまは、秋の絶品。～ 柚子ゆずしばり お湯割り進む 秋の食 ～ ふと頭に浮かんだ(笑)
秋の味覚で元気をつけて、もうひと頑張り。鍋の季節が、もうそこまで来ている。